

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.143

2017. 9. 4

発行：平和憲法・9条をまもる

岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL 019-684-2225

FAX 019-684-2227

“二度と繰り返してはいけない” という思いをあらたに

広島・長崎への原爆投下から72年。あの悲惨な出来事は、決して忘れずに伝えていかなければなりません。今年も次世代を担う若者たちが、核兵器について考え合い、被害の実相を肌で感じ、戦争も核兵器使用も絶対にしてはいけないという思いをあらたにしました。

“たくさんの思い” に触れたナガサキ

この間、組合での県内一周反核平和マラソンやヒバクシャ署名の取り組みをする中で、ぜひ現地へ行ってみたいと手を挙げ、8月6日（日）～9日（水）の4日間、岩手県原水協の代表団として「原水爆禁止2017年世界大会」に送り出していただきました。空港に降り立ち長崎の街並みを見ると、歴史深く情緒あふれる街に本当に原子爆弾が落とされたのだろうかと思わされてしまいました。

しかしながら、爆心地、平和公園、浦上天主堂の被爆マリア像などを見学し、被爆者や被爆2世の方の壮絶な実体験を聴き、間違いなく本当に長崎という地に原子爆弾が落とされ、たくさんの方が悲しみや苦しみに突き落とされたのだと、強く肌で感じさせられました。そして、海外からのゲスト参加者の多さと世界規模での関心の高さ、核禁止・廃絶という同じ目標を掲げていく事の心強さを感じる事が出来ました。

この貴重な経験へ送り出してくれた仲間感謝するとともに、長崎の4日間で心に刻んだ“たくさんの方の思い”や“会場の熱気”を一人でも多くの人に伝え、核廃絶への一歩となるよう求めていきたいと思えます。

（岩泉町職員組合 長崎 綾乃）



“一人ひとりには微力でも無力ではない” 核廃絶で高校生が討論

8月6日に、盛岡市上田公民館で開催の県・県原爆被害者団体協議会主催「原爆パネルと人間展」の一企画として、高校生によるトークセッションが開催されました。盛岡白百合学園高、盛岡三高、盛岡一



高から各2人計6人が参加。盛岡大学と岩手大学の学生が進行役となって、若い世代が核兵器廃絶について本音で語り合いました。

高校生たちは、「街頭署名では大半はスルーされる」「両親は戦争未経験。友人同士でも戦争や核兵器について話しづらい環境がある」など、同世代や親世代が原爆などに関心が低いことを懸念。「広島では小さい頃から家族や学校で原爆について教えられるが、私たちはテスト前だけ。

学校教育の質や量も重要では」という意見が出されました。

国連で7月に採択された核兵器禁止条約で交渉会議に日本が不参加だったことについては、国際情勢を考えると仕方ないという声も出ましたが、「平和が大事、核廃絶と言いながら行動に示さず、怒りを覚える」「なぜ？という気持ち。唯一の被爆国として恥ずかしい」「政府は何を考えているのか。私たちが政治参加していくしかない」などの意見が聞かれました。

核兵器廃絶の実現に向けては、「地球上からはなくなる」「すぐには難しい」というシビアな意見も。しかし最後には、「署名活動を通して感じたのは、『一人ひとりには微力でも無力ではない』ということ」「平和とは何か、自分たちが考えるきっかけづくりが必要。もっと知識を持って発信していきたい」という力強い言葉で締めくくられました。

平和であることを実感し、まつりを楽しみました！

—矢巾九条の会「ピースin矢巾 夢・まつり」開催—

8月6日に矢巾町公民館で、「平和を楽しもう。夢まつりを楽しもう」というテーマで、「第11回ピースin矢巾夢・まつり」を開催しました。

まず第1部では、小学生も2人加わって詩の朗読を実施しました。いのちの尊さ・平和の願いなどを込めた内容の詩をいくつか朗読後、小学5年生の児童が作った「幸せって」という題の詩を、参加者全員で朗読。「一人ひとりが大切な存在。みんなつながって幸せになり、平和をつくろう」という内容に、みんなで感動しながら読み上げました。

第2部は「みんなで歌う会」。「長崎の鐘」や「原爆許すまじ」などのリクエスト曲を楽器演奏しながら、歌って盛り上がりました。第3部は、矢巾町シルバーリハビリ体操協会の方に指導していただき、ストレッチで体をほぐしました。

参加者は26名と少人数でしたが、「詩の朗読がとても良かった」「戦争はいけない、平和への思いを強くした」「歌っこが楽しかった」などの感想をいただき、平和であることを実感し、おまつりを楽しんだ一日でした。

(矢巾九条の会・高橋秀子)



—映画「母」みんなで観よう！おすすめよう！—

地域	日時	会場
盛岡	9/29(金)①10:30②13:30③18:30	県民会館中ホール
奥州	10/13(金)①10:30②14:00③18:30	Zホール中ホール
一関	10/21(土)~27(日)	シネプラザ

※今後、久慈市、宮古市でも上映予定。

◆前売券(1100円)は、いわて生協・県民会館・パルクアベニュー・ニューカワトク・プラザおでってで販売中！

コラム

軍事力を後ろ盾の「平和」ではなく、平和の力による「平和を」！

8月上旬マニラで開催の「ASEAN 関連会合」前後の北朝鮮を巡る状況は、我が日本の安倍政権の「軍事対軍事」外交が明瞭になったものでした。これでは8月15日の「終戦(敗戦)記念日」を前に、日本国民を再び戦争の惨禍による「不幸」を思わせるものではなかったでしょうか。

報道による状況は…「朝鮮半島で日米訓練、米軍爆撃機と空自戦闘機、北朝鮮を牽制」と米軍爆撃機と空自戦闘機が平行飛行する写真。また、「ASEAN 関連会合」では「情報戦、中国が攻勢、米アピール足りず」と言われました。

日本はこの前後から「対話のための対話では意味がない、対話の時期ではない」などと、対話を否定し、戦前の国際連盟脱退時のような「強力外交」—「制裁と軍事圧力」の強化一辺倒。トランプ米政権でさえ「外交優先」に言及、ドイツを始めEUも「軍事攻撃の選択」の否定と「対話による平和解決」を主張。グテーレス国連事務総長の「米朝両国の自制」主張。米韓軍事同盟下の韓国・文在寅政権も「北との対話」の模索。中口は言うに及ばず「対話による外交的解決」を主張。これでは日本はいけないのではないのでしょうか。

「強く美しい日本(大日本)」を取り戻すと訴えている安倍政権に対し、国民運動、市民運動で軍事によらない、日本国憲法に基づく「平和外交」「対話による外交的解決」を大きな声で求めていきましょう。8月18日の戦争させない・9条壊すな！岩手の会盛岡デモでは、「6か国協議を開催しろ」という声が上がりました。平和の力による「平和を」！「安保法制」は「富国強兵」で戦争！それでは国民が再び不幸になります。(T)

今月の署名行動

9月の街頭署名行動は8日(金) 12:00~12:45
「盛岡市大通野村證券前」で実施します。ぜひご参加ください！